

東村山市みどりの基本計画 2021改定版（概要版） (案)

活きたみどりを 育む・楽しむ 東村山
—持続可能なみどりのまちづくりを目指して—

I 計画の基本的な考え方



東村山市みどりの基本計画2021は、都市緑地法 第4条に基づく
緑の保全及び緑化の推進に関する基本計画です。

I. 東村山市みどりの基本計画2021 改定の目的

- 令和3（2021）年3月に「東村山市みどりの基本計画2021」を策定し、
様々なみどりを活かす取り組みを積極的に実施してきました。
- 計画期間の折り返しとなる5年目の節目を迎えることを受け、
中間見直しを行いました。
- 「東村山市みどりの基本計画2021 改定版」は、
令和8（2026）年度からの後半5年間の取組を示しています。



【改定（中間見直し）にあたっての取り組み事項】

- ① 緑被の状況、公園・緑地の状況の確認
- ② 施策や目標指標の取組の点検・評価、今後に向けた施策整理
- ③ わかりやすい表現への変更や時点修正
- ④ 令和6年度の都市緑地法の改正や、東京都の取り組み、本市における上位関連計画との整合

2. 計画の構成



「東村山市みどりの基本計画2021 改定版」は、以下のような構成です。

第1章 計画の基本的な考え方	1 東村山市みどりの基本計画 2021 策定の目的 2 計画づくりのキーワード 3 計画の位置づけ 4 計画期間 5 計画の策定 6 計画の構成
第2章 東村山市の みどりを 取り巻く状況	1 東村山市の概要 (位置、地形・地質、人口・世帯、土地利用、植生、生物多様性の概要、水辺環境) 2 東村山市のみどりの状況 (緑被の状況・緑地の状況・みどりに関する市民意向)
第3章 みどりの課題 と計画の 方向性	1 東村山らしいみどりを活かす 2 貴重な水辺やみどりの計画的な確保 3 生物多様性の保全など、みどりの多様な機能の発揮 4 丁寧な維持管理・更新による、みどりの質の向上 5 豊かな農地の保全と活用 6 特徴的なみどりのまちづくり 7 東村山市のみどりのライフスタイルの構築 8 多様な主体との連携・協力 9 適切な進行管理

第4章 計画の理念と 将来像

1 計画の基本理念

活きたみどりを 育む・楽しむ 東村山
—持続可能なみどりのまちづくりを目指して—

2 みどりの将来像

みどりの姿

まちの姿

ひとの姿

3 計画の基本方針

1 東村山の魅力
となるみどり
を守り・活かそ
う

2 みどりとともに
に暮らすまち・
ライフスタイルをつくろう

3 みどりとひと
のつながりを
深めよう

第5章 計画実現の ための 施策展開

1樹林地のみどり
2農のみどり
3水辺のみどり
4生物多様性に配
慮したエコロジ
カルネットワー
ク

1公園・緑地
2まちのみどり
3みどりをつなぐ
4計画的なみどり
のまちづくり
5花やみどりのま
ちづくり

1みどりに親しみ
つながりを深め
る
2多様な主体との
協働

第6章 重点施策と 目標指標

重点施策
目標指標

重点施策
目標指標

重点施策
目標指標

第7章 計画の実現に 向けて

1 多様な主体との協働
(1)市民・市民団体との協働 (2)民間事業者との協働 (3)行政の連携
2 計画の適切な進行管理
(1)進行管理の考え方 (2)進行管理スケジュール





Ⅱ 東村山市のみどりの状況

東村山市のみどりの状況を把握するため、
みどりの調査（緑被調査、緑地調査）を実施しました。

I. 緑被の状況

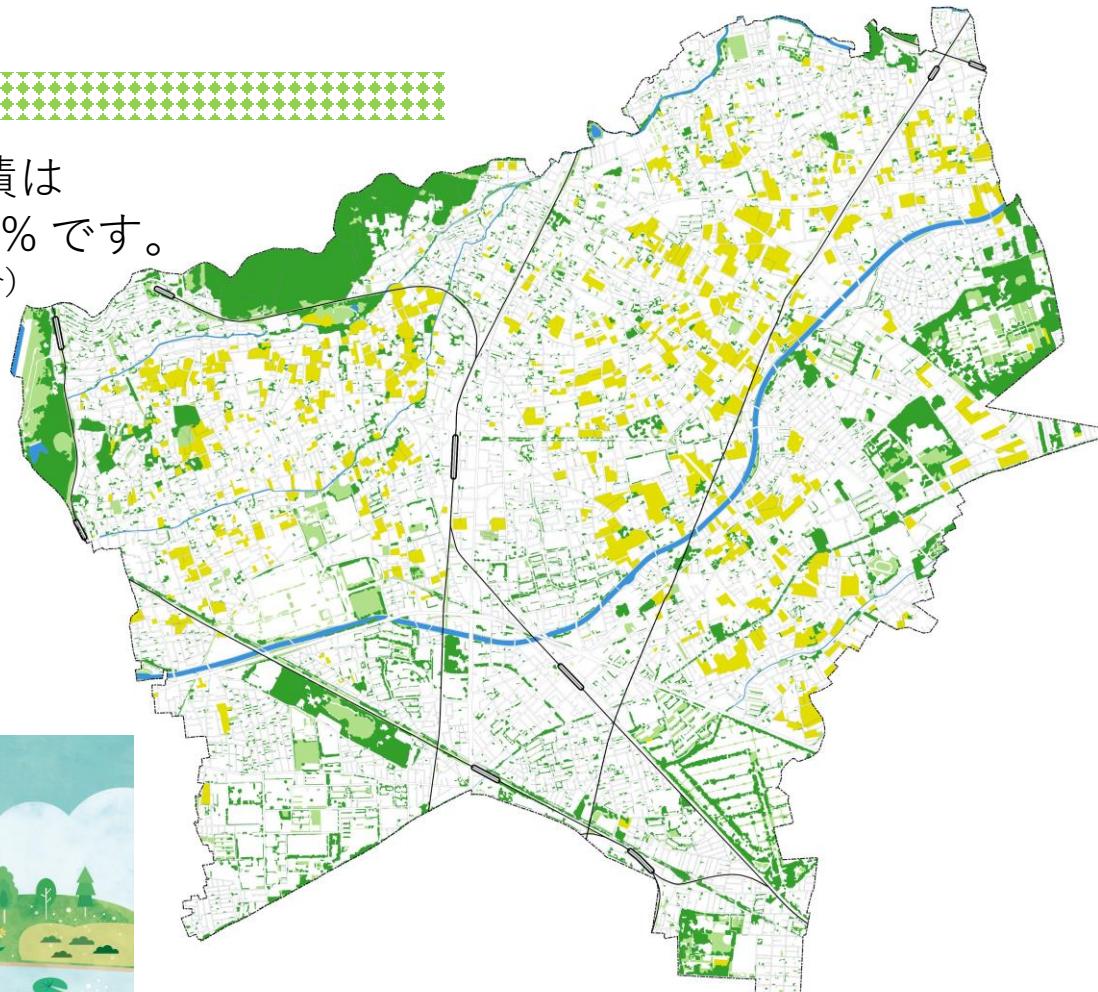
- 令和7年現在の緑被面積は
415.9ha、緑被率は24.3%です。
(市全体の面積に占める緑被地の割合)

R7緑被現況図

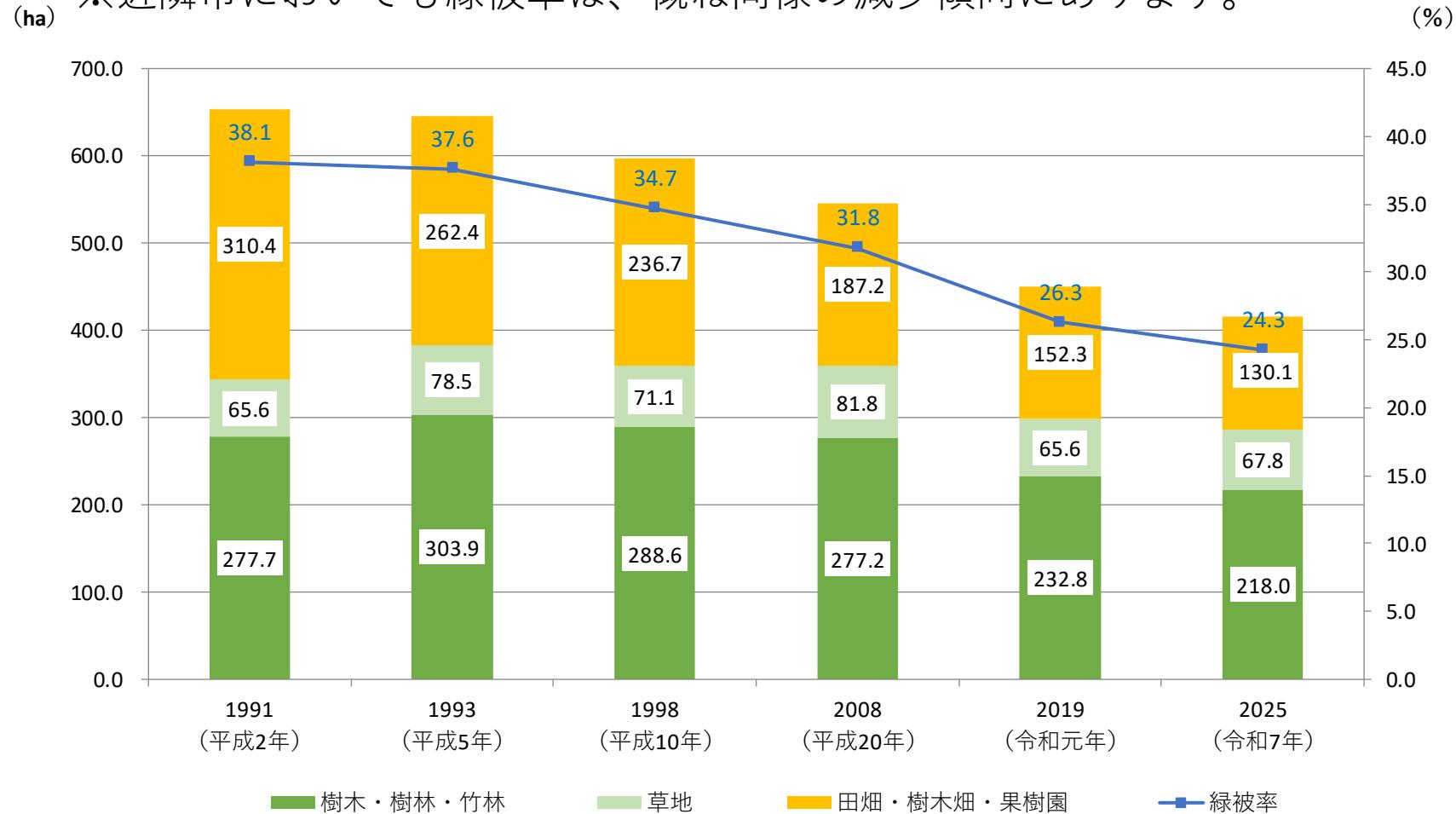
■ 樹林地	: 218.0ha
■ 農地	: 67.8ha
■ 草地	: 130.1ha
■ 水面	: -

*緑被地とは…

河川や池などの「水辺地」
のほか、「樹林地」「草地」
「農地」等、みどりに被われ
た土地のことです。



- ▶ 薬師山緑地や前川公園の公有地化、公園整備等により、緑地の確保や保全を進めました。
 - ▶ 令和元年と比較し、およそ35haが減少、緑被率は2ポイントの減少です。内訳は、樹林地が14.8ha、農地が22.2ha減少しました。
- ※近隣市においても緑被率は、概ね同様の減少傾向にあります。

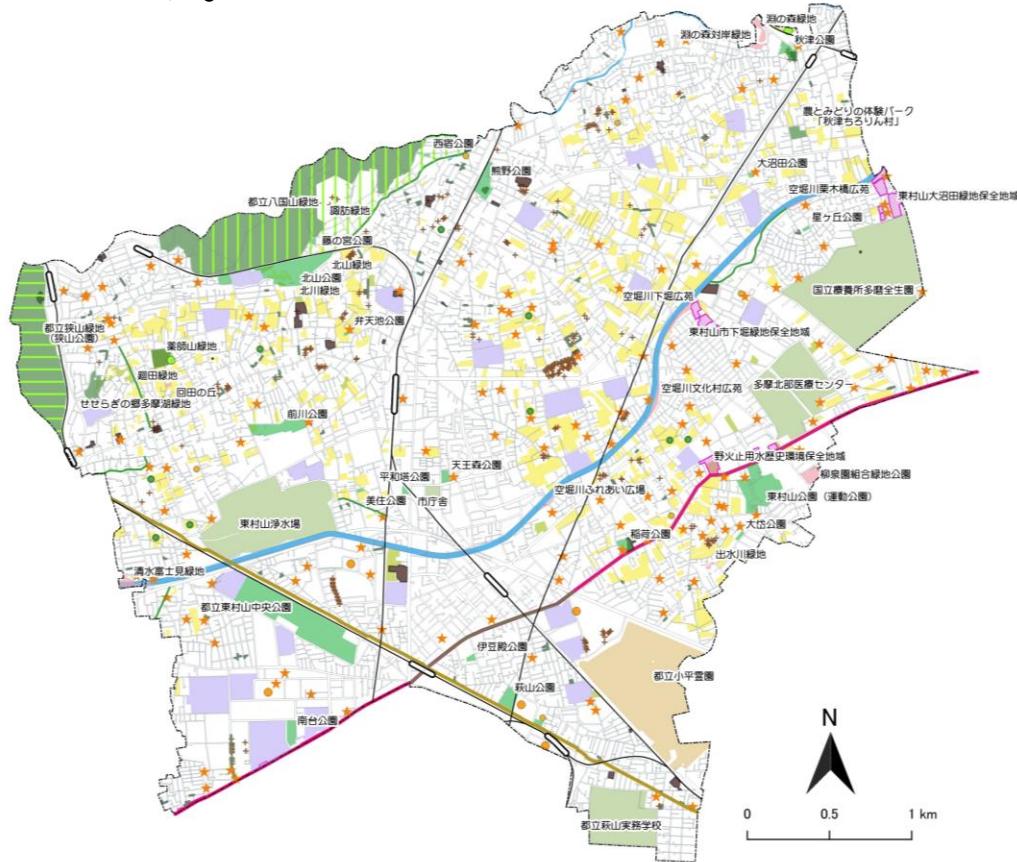


2. 緑地の状況

6

- 令和7年3月時点の公園・緑地の面積は344.00haです。
- 令和2年3月時点（344.53ha）と比較して0.53haが減少しました。内訳は、樹林地や農地等が減った一方、公園の整備や公共施設内の植栽等の増加により、概ね維持されています。

- 都市公園
- 都市緑地
- 墓園
- 緑道(都市公園)
- 公共緑道
- 児童遊園、仲良し広場
- 運動場
- 市民農園
- 体験農園
- 民設公園、公団・公社が設置する公園
- 民間トラスト地
- 社寺境内地
- グラウンド
- 緑地(公共施設緑地)
- 公共施設の植栽地
- 風致地区
- 近郊緑地保全区域
- 保存生垣
- 保存樹木
- 野火止用水
- 都緑地保全地域、都歴史環境保全地域
- 緑地保護区域
- 生産緑地地区
- 河川区域



*緑地とは…

都市公園法に基づく都市公園や法律や条例等の定めによりみどりが守られている土地のことです

III. みどりの課題と計画の方向性

東村山市みどりの基本計画2021 策定時からの取組を振り返り、後半5年間の方向性をまとめました。



9つの計画の方向性▶

- ① 東村山らしいみどりを活かす
- ② 貴重な水辺やみどりの計画的な確保
- ③ 生物多様性の保全など、みどりの多様な機能の発揮
- ④ 丁寧な維持管理・更新による、みどりの質の向上
- ⑤ 豊かな農地の保全と活用
- ⑥ 特徴的なみどりのまちづくり
- ⑦ 東村山市のみどりのライフスタイルの構築
- ⑧ 多様な主体との連携・協力
- ⑨ 適切な進行管理

▼取組の一例

① 東村山らしいみどりを活かす



多磨全生園でのイベント開催

【前半5年間の取り組み】
狭山丘陵や多磨全生園など様々な公園や緑地で維持管理活動やイベントが実施され、みどりを活かした取り組みが進みました。

【後半5年間の方向性】
みどりを活かした様々な活動を継続するとともに、再整備の際などに都市部の緑化について検討し、また街路樹の更新などを行うことにより、東村山らしい緑の保全に取り組みます。

② 貴重な水辺やみどりの計画的な確保



新たに取得した薬師山緑地

【前半5年間の取り組み】
保全配慮地区を設定し、保全の取り組みの優先順位を定めました。また、薬師山緑地や前川公園の公有地化など、貴重なみどりの計画的な確保を図りました。

【後半5年間の方向性】
緑地を活用し、イベントを数多く実施しました。新たに取得した薬師山緑地を適切に管理するとともに、減少の続くみどりの保全に向け、市民緑地契約制度等の仕組みの構築及び持続可能な財源確保について検討を進めます。

III. みどりの課題と計画の方向性



▼取組の一例

③ 生物多様性の保全など、みどりの多様な機能の発揮



ウシガエルやアメリカザリガニ、アカミミガメ等の外来種防除

【前半5年間の取り組み】

市民や市民団体、指定管理者等との協働で生きもの調査や普及啓発等、生物多様性に配慮した取り組みを進めました。

【後半5年間の方向性】

生きもの調査の実施など、生物多様性の保全に向けた基礎データの収集に取り組むとともに、市民との協働により、東村山市の生態系においての指標となるような種の選定を進めるなど、ネイチャーポジティブの具現化に向けた取り組みについて検討を進めます。

④ 丁寧な維持管理・更新による、みどりの質の向上



野火止用水の維持管理

【前半5年間の取り組み】

貴重な樹林地の保全を図るため、樹林地の維持管理を実施し、みどりの質を高める取り組みを進めました。野火止用水の河岸では、「倒木の恐れがあり伐採を推奨する」とされた樹木の伐採など安全対策を実施しました。

【後半5年間の方向性】

ガイドラインに沿ったみどりの維持管理及び緑地保護区域所有者への支援を継続し、老木の伐採や計画的な捕植など更なるみどりの質の向上を目指します。

⑥ 特徴的なみどりのまちづくり



東村山駅東口駅前広場
再整備基本計画を策定

【前半5年間の取り組み】

連続立体交差事業に伴い、駅前広場再整備基本計画を策定するなど、特徴的なみどりのまちづくりに向けた取り組みを図りました。また、開発の際には公共の緑のガイドラインを参考資料として提示し、東村山市に適した緑化へ協力を仰ぎました。

【後半5年間の方向性】

住宅への緑化助成の推進などにより、まちづくりと連動した市街地のみどりの保全に努めます。また、住宅地など市街地の緑化に向けた手法について検討を進め、国や都の動向についても注視していきます。



IV. 計画の理念と将来像

計画の基本理念やみどりの骨格構造は策定時のものを踏襲し、取組の継続を図りました。

I. 計画の基本理念

活きたみどりを 育む・楽しむ 東村山
—持続可能なみどりのまちづくりを目指して—

みどりは東村山市大きな魅力

東村山市は武蔵野台地中央に位置し、水辺や樹林地など豊かなみどりを有し、都市の利便性と自然の潤いが調和した暮らしが魅力です。みどりを大切にする人々の存在も大きな魅力です。

これまでの取り組みとこれからの決意

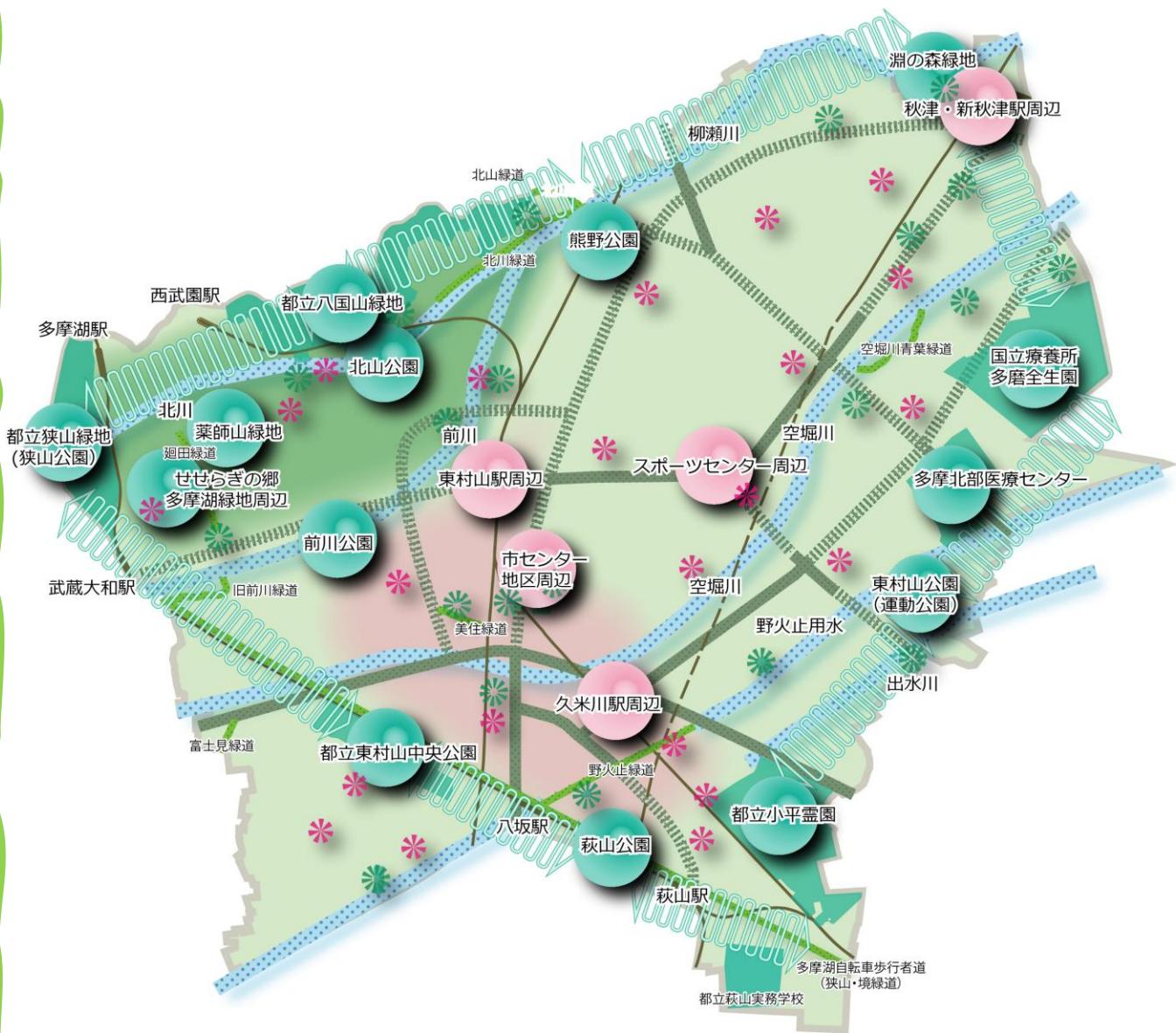
東村山市は取り組みを進めてきましたがみどりの減少は続いています。私たちはみどりを守り育み、将来世代へ継承する決意です。

みどりを「活かす」取り組みで、持続可能なみどりのまちづくりを！

みどりの質を高め、生きものの生息・生育の場や防災、景観、温暖化緩和など多様な機能をグリーンインフラとして発揮させます。市民がみどりを育み楽しむライフスタイルを構築し、持続可能なまちづくりを進め、「みどりにぎわい いろどり豊かに 笑顔つながる 東村山」の実現を目指します。

2. みどりの将来像（みどりの骨格構造）

10



核

みどりの核

身近なみどりの核

都市緑化の核

地域緑化の核

回廊

みどりの軸

軸

河川の軸

緑道の軸

整備済
未整備

ゾーン

歴史・文化・自然ゾーン

市街地ゾーン

都市型住宅ゾーン

主な公園・緑地

鉄道

行政界

V. 計画実現のための施策展開

11

計画の実現に向けて、3つの基本方針に基づき施策を整理しています

・ 基本方針Ⅰ：東村山の魅力となるみどりを守り・活かそう

施策の方向性	実施施策
1-1 樹林地のみどりを守り・活かそう	1-1-1 狹山丘陵のみどり
	1-1-2 せせらぎの郷多摩湖緑地及び薬師山緑地周辺のみどり
	1-1-3 北山公園周辺のみどり
	1-1-4 淵の森緑地のみどり
	1-1-5 国立療養所多磨全生園等のみどり
	1-1-6 小さな樹林地のみどり
	1-1-7 樹林地保全の推進
	1-1-8 維持管理と活用による樹林地の質の向上
1-2 農のみどりを守り・活かそう	1-2-1 農地
1-3 水辺のみどりを守り・活かそう	1-3-1 水辺のみどり 1-3-2 河川・湧水等の水辺 1-3-3 水循環への配慮
1-4 生物多様性に配慮したエコロジカルネットワークをつくる	1-4-1 エコロジカルネットワークの確保 1-4-2 生きものの実態把握 1-4-3 生物多様性の保全へ向けた理解の醸成

▼具体的な内容の一例

1-1-8 維持管理と活用による樹林地の質の向上



ナラ枯れへの対応により伐採した樹林地については、被害の状況を確認し必要な対応を図ります。

1-2-1 農地



農地賃貸のマッチングや市民農園、体験農園としての活用を推進します。

・基本方針2 :みどりとともに暮らすまち・

ライフスタイルをつくろう

12

施策の方向性	実施施策	
2-1 多くのひとが楽しめる公園や緑地をつくろう・活かそう	2-1-1	計画的な整備・拡充
	2-1-2	適切な維持管理の推進
	2-1-3	公園や緑地を楽しむ機会の充実
	2-1-4	東村山市の特徴となる個性ある公園づくり
2-2 まちのみどりを守り・活かそう	2-2-1	人々が集まる公共空間のみどり
	2-2-2	学校のみどり
2-3 みどりをつなげよう	2-3-1	みどりをつなぐ
2-4 計画的なみどりのまちづくりを進めよう	2-4-1	まちの緑化の推進
2-5 花やみどりの美しい庭をつくろう	2-5-1	花やみどりの美しい庭づくり

▼具体的な内容の一例 2-1-1 計画的な整備・拡充



指定管理者等による公園の管理・保全・活用を継続し、公民連携による公園づくりを引き続き推進します。

2-4-1 まちの緑化の推進



東村山駅東口では、駅前広場の再整備等を計画しており、「広い空」と「豊かなみどり」を体感できるよう、植栽配置を工夫し、憩い・佇める東村山らしい空間を目指します。

・基本方針3 :みどりとひとのつながりを深めよう

13

施策の方向性	実施施策	
3-1 みどりに親しみ、つながりを深めよう	3-1-1	みどりの情報発信
	3-1-2	みどりに集い楽しむ機会の拡充
3-2 多様な主体との協働を進めよう	3-2-1	市民・市民団体、民間事業者との連携・協力
	3-2-2	国や東京都、庁内の横断的な連携・協力

3-1-1 みどりの情報発信



東村山市のみどりに関する認知度向上や緑化に対する周知啓発のため、多様な媒体でみどりに関する情報を広く周知し、事業者・市民団体と連携した啓発活動も積極的に発信します。

▼具体的な内容の一例

3-1-2 みどりに集い楽しむ機会の拡充



学校教育と連携し、秋津ちろりん村での農作業体験や北山公園での自然学習などを通じ、こどもたちが里山の豊かさを感じられるようにします。

VI. 重点施策と目標指標

目標指標によって
計画の進捗を確認します。

14

	目標指標	策定時 (令和2年3月31日時点)	現状値 (令和7年3月31日時点)	将来値 (令和12年)
基本方針1	新たに保全した公園・緑地などの面積	-	約2.5ha	約3.05ha
	緑地保護区域の面積	約8.26ha	約5.70ha	維持
	保存樹木・特別保存樹木の本数	407本	371本	維持
	農地面積	147.3ha	130.1ha	121ha
	市民農園・体験農園・農業体験公園の設置件数	10件	15件	18件
	河川湧水調査の実施	2回／年(箇所による)	2回／年	完了 (必要に応じて随時実施)
	野火止用水の危険木除去	138本	0本 (完了)	0本 (危険木のない状態を継続)
	下水道の接続率	99.2%	99.4%	100%
基本方針2	市民協働による生きものの実態調査	不定期	不定期	1回／5年
	市民一人当たりの都市公園・緑地の面積	5.24m ²	5.32m ²	5.63m ²
	維持管理等協定件数	5件	5件	10件
	新たに設置した街路樹延長	-	0km	約6.8km
基本方針3	生垣の新規設置延長	40m／年 (平成29年度～令和元年度の平均)	30.7m／年 (令和5年度～令和7年度の平均)	50m／年 (3か年平均)
	壁面緑化実施件数	40本／年 (平成29年度～令和元年度の平均)	19.7本／年 (令和5年度～令和7年度の平均)	50本／年 (3か年平均)
全体指標	みどりのイベント参加人数	98,000人／年(令和元年度実績)	85,600人	100,000人／年
	八国山たいけんの里での自然観察会回数	12回／年(令和元年度実績)	10回	維持
	維持管理等協定締結件数	5件	5件	10件
	緑被率	26.3% (平成29年航空写真撮影時点)	24.3% (令和7年航空写真撮影時点)	維持
	公園・緑地面積	344.53ha (令和2年3月31日時点)	344.00ha (令和7年3月31日時点)	維持

VII. 計画の実現に向けて

計画の実現に向けて、適切な進行管理を実施します。

15

I. 多様な主体との協働

本計画は、市民や市民団体、民間事業者、国や東京都、周辺自治体、庁内関係部署等、多様な主体との協働により、実現に向けて取り組みます。



2. 計画の適切な進行管理

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画の目標										目標年次
目標指標等の点検・評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
市民への報告・意見交換会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
緑化審議会へ報告	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計画の見直し			中間見直し★						全面見直し★	

中間見直し後も、目標指標の達成状況や各施策に基づく事業の実施状況を点検・評価し、東村山市緑化審議会へ報告、意見を伺いながら、計画の推進に反映していきます。

おわり

